
新 東 工 場 整 備 運 営 事 業

落 札 者 決 定 基 準

令 和 3 年 1 1 月 1 0 日

長 崎 市

新東工場整備運営事業 落札者決定基準

目 次

第 1 章 落札者選定の手順	1
第 2 章 参加資格審査	3
第 3 章 提案審査	3
第 4 章 定量化審査において審査する点	6
第 5 章 提案書に関するヒアリング	6
第 6 章 審査結果等の公表	6

第1章 落札者選定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

新東工場整備運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、新東工場（エネルギー回収型廃棄物処理施設）の設計・建設及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「新東工場整備運営事業落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、長崎市（以下「本市」という。）が本事業を実施する落札者の募集・選定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、応募者から提出された入札提出書類を客観的に評価する基準及び方法を示し、応募者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、図1に示す手順で実施する。

（1）参加資格審査

本市は、参加資格審査申請書類の提出書類により、入札説明書に記載の応募者の参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。

なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

（2）提案審査

ア 提案書の基礎審査

「長崎市新東工場整備運営事業受注者選定審査会」（以下、「審査会」という。）は、提案書（技術提案書、施設計画図書、添付資料）に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

イ 非価格要素の定量化審査

審査会は提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す得点化基準に従って評価する。

ウ 入札価格の確認

本市は、入札書に記載された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。この結果、入札金額が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 入札価格の定量化審査

審査会は入札価格について、落札者決定基準に示す得点化基準に従って評価する。

なお、入札価格の定量化審査においては、定量化限度額を設けるものとする。

オ 総合評価点の算出

審査会は、非価格要素の定量化審査及び入札価格の定量化審査における得点を合計し、総合評価点を算定する。

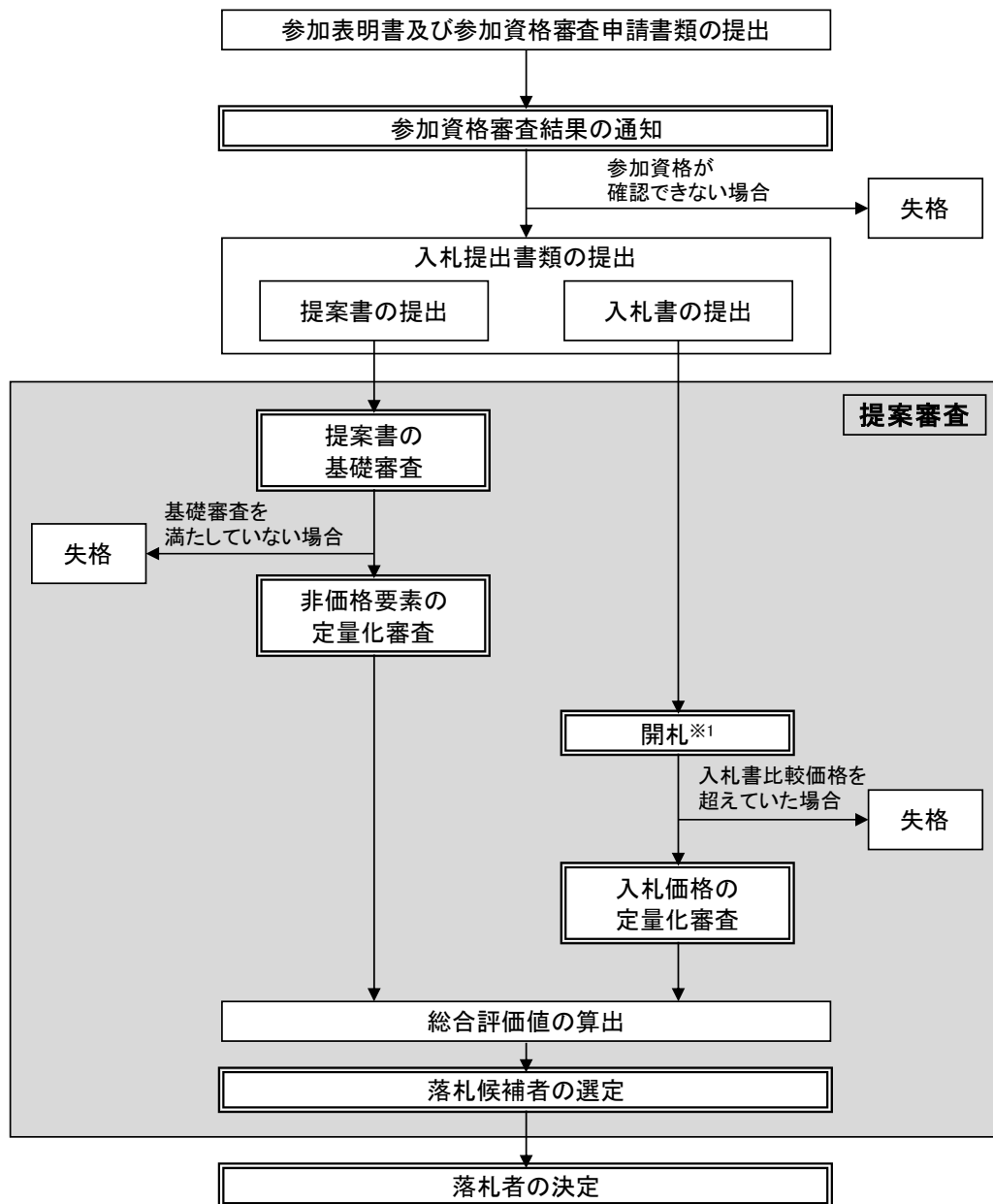
カ 落札候補者の選定

審査会は、総合評価点が最も高い応募者を落札候補者として選定する。

総合評価点の最も高い応募者が2者以上あるときは、価格要素点の高い応募者を落札候補者として選定するものとする。価格要素点についても同点の場合は、当該応募者にくじを引かせて落札候補者を選定するものとする。

キ 落札者の決定

本市は、審査会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。



※ 1 提案書の基礎審査において失格となった者の提出した入札書は、開札しない。

※ 2 審査会の事務は図中網掛け部分である。

図 1 落札者決定の手順

第2章 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書から、次の事項を確認する。参加資格要件の審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 入札参加に関する条件等」を参照のこと。

第3章 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 入札書類の確認

提出された提案書がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次の基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間のくい違い、矛盾等がないこと。

2 非価格要素の定量化審査

提案書に記載された内容について、次の審査方法に従い定量化する。

(1) 定量化審査の審査項目と配点

審査項目は、本市が民間事業者に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次のとおりである。

なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4章 定量化審査において審査する点」を参照のこと。

表 1 定量化審査の審査項目と配点

審査事項	大項目	中項目	小項目	配点	
非価格要素の定量化審査				600点	
	長期安定稼働 (基幹的施設整備を実施し、40年以上の稼働を目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・40年以上の施設の長寿命化を目指す。 ・災害時の早期復旧を目指す上で根幹的施設とし、地域の防災拠点となる施設を目指す。 ・将来の機能向上や基幹改修に柔軟に対応できる施設とする。 	① 長寿命化	20点	110点
			② 災害に対する強靱化	50点	
			③ 災害発生時の対応・処理継続性の確保	20点	
			④ 将来を見据えた施設	20点	
	施設の安全性や安定的な稼働に対する住民の信頼性維持	<ul style="list-style-type: none"> ・事故やトラブルを未然に防ぐ、安全性の高い施設を目指す。 ・処理が円滑かつ長期的に安定して行える施設とする。 ・情報の積極的開示など事業を通じて、信頼の確保・維持に努める。 	⑤ 全体配置動線	20点	160点
			⑥ 屋内配置動線	20点	
			⑦ 施工計画	20点	
			⑧ トラブルの未然防止及び事後対策	20点	
			⑨ 安定稼働	20点	
			⑩ 搬入管理・運転管理	20点	
	費用対効果に優れた整備運営	<ul style="list-style-type: none"> ・DBO事業による整備を行い、合理的な施設の整備・運営を行う。 	⑪ 情報発信	20点	80点
			⑫ 運営開始後の地域との関わり方	20点	
			⑬ 工程の工夫	20点	
			⑭ 組織体制・人員配置	20点	
	エネルギー活用の最大化と環境保全対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ長崎」を宣言。 ・資源循環、エネルギー回収及び利用に優れ、省エネルギー化に努める。 ・自然環境・生活環境への負荷を低減し、周辺環境と調和した施設を目指す。 ・環境学習を始めとした、環境教育の起点となる施設を目指す。 	⑮ 経営計画・事業収支	20点	210点
			⑯ リスク管理と対処方法	20点	
⑰ ゼロカーボンへ向けた取り組み			40点		
⑱ エネルギーの有効活用			40点		
⑲ 周辺環境と調和した施設			50点		
⑳ 残渣の発生量の低減			20点		
㉑ 公害防止対策			20点		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 	㉒ 見学者対応・環境学習	40点	40点	
		㉓ 市内業者又は認定市内業者の活用や雇用による地元経済への配慮	20点		
			㉔ 企業ノウハウを活かした地域貢献	20点	
入札価格の定量化審査				400点	
	1) 入札価格			400点	
合計				1,000点	

(2) 非価格要素点の算定方法

- ア 提案を求めている審査項目においては、表2に示す5段階評価による得点化方法により得点を付与する。
- イ 各審査項目の評価点については、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。
- ウ イの結果をもとに、各応募者の得点の合計を算出する。

表2 5段階評価による得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	配点×0.00

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。

なお、入札価格の確認のための開札は、非価格要素の定量化審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札金額が入札書比較価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格の定量化審査

(1) 価格要素点の算定方法

価格要素点は、入札価格（「様式集 様式第14号」に記載する金額をいう。）に対して、次の算定式により得点を付与する。得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

入札価格が定量化限度額（予定価格の80%）以下の場合、当該応募者の価格要素点は400点満点とする。

入札価格の得点算定式
<p>○最低入札価格 > 定量化限度額の場合</p> $\text{当該応募者の価格評価点} = 400 \text{ 点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$
<p>○最低入札価格 ≤ 定量化限度額の場合</p> $\text{当該応募者の価格評価点} = 400 \text{ 点} \times \frac{\text{定量化限度額}}{\text{入札価格}}$
<p>※入札価格が定量化限度額以下の応募者の価格評価点は400点満点</p>

5 総合評価点の算定方法

「2 非価格要素の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算出した得点を合計して、各応募者の総合評価点を算出する。

総合評価点の算定式	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{総合評価点} \\ \text{[1,000点]} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{非価格要素点} \\ \text{[600点]} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{価格要素点} \\ \text{[400点]} \end{array} \right)$	
※ [] 内は各得点の配点を示す。	

第4章 定量化審査において審査する点

審査会では、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。

なお、各項目については、審査の視点に対して、各応募者の過去の経験等を踏まえた、より実現性の高い提案が望ましいものとする。(表3を参照)

第5章 提案書に関するヒアリング

審査会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり応募者に対し、ヒアリングを行う。なお、ヒアリングについては、応募者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施することを予定している。

ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6章 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、応募者においては個別に通知する。

表3 非価格要素の定量化審査における審査の視点

審査事項	大項目	中項目	小項目	審査の視点	配点
非価格要素の定量化審査					
長期安定稼働 (基幹的施設整備を実施し、40年以上の稼働を目標)		<ul style="list-style-type: none"> 40年以上の施設の長寿命化を目指す。 災害時の早期復旧を目指す上で根幹的施設とし、地域の防災拠点となる施設を目指す。 将来の機能向上や基幹改修に柔軟に対応できる施設とする。 	① 長寿命化	【40年以上の施設の長寿命化を見据えた対策、計画を評価】 ・設計・施工段階、維持管理段階における各対策について、計画性と実効性のある提案であるか。 ・維持管理計画（基幹的設備改良を含む点検、検査、補修計画等）について、計画性と妥当性のある提案であるか。 ・事業期間終了後の性能確認方法及び次期運営事業者への引継ぎ方法の具体性と妥当性のある提案であるか。	20点
			② 災害に対する強靱化	【施設の強靱化、防災機能についての評価】 ・災害発生時において、安全に運転を継続できる、また早期に施設を復旧できる施設とするための強靱化方策について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性のある提案であるか。 ・災害発生における見学者及び作業員の緊急避難について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性のある提案であるか。 ・建築物及びプラント機器の塩害対策、防災対策、台風対策及び地震対策の計画性と妥当性のある提案であるか。	50点
			③ 災害発生時の対応・処理継続性の確保	【災害発生時の対応、事業継続計画(BCP)について評価】 ・災害発生後にごみ処理を継続するための具体的な手順、連絡体制、バックアップを含む運転体制及び運転方法等について、実効性と妥当性のある提案であるか。 ・災害時における本施設から隣接する基幹的避難所（東公園コミュニティ体育館）への電気及び熱の安定供給方策について、また、避難所への電気供給方策の提案について、実効性と妥当性のある提案であるか。	20点
			④ 将来を見据えた施設	【将来の機能向上、基幹改修等に柔軟に対応できる施設であるかを評価】 ・将来の技術革新等がなされた場合における施設の改良や機能向上、機能付加に対する配慮（改造スペースの確保等）した提案であるか。 ・経年劣化等による機器更新を見据えた配置及び搬出入動線の計画性と妥当性のある提案であるか。	20点
施設の安全性や安定的な稼働に対する住民の信頼性維持		<ul style="list-style-type: none"> 事故やトラブルを未然に防ぐ、安全性の高い施設を目指す。 処理が円滑かつ長期的に安定して行える施設とする。 情報の積極的開示など事業を通じて、信頼の確保・維持に努める。 	⑤ 全体配置動線	【施設の配置、動線、車両や人の移動の安全性を評価】 ・敷地条件と敷地内施設の利用形態（ごみ等の搬入・搬出等）を踏まえた全体配置計画に対し、計画性と妥当性のある提案であるか。 ・車両と車両、車両と人に対する安全確保、年末等の繁忙期における車両集中に対し、計画性と妥当性のある提案であるか。 ・一般市民が分かりやすく不要な周回を必要としない車両動線の構築及び場内誘導・サイン計画に対し、計画性と妥当性のある提案であるか。	20点
			⑥ 屋内配置動線	【施設内の設備の配置、動線、車両や人の移動の安全性を評価】 ・プラットフォームにおける受入供給設備、待車、貯留、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業の効率性及び妥当性のある提案であるか。	20点
			⑦ 施工計画	【施工期間中の安全対策を評価】 ・既存施設を稼働させながらの工事における安全対策（既存施設利用者、既存施設作業員及び工事関係者の安全確保、既存施設の操業に対する安全確保、建設工事の安全確保、動線の分離）について、計画性と妥当性のある提案であるか。	20点
			⑧ トラブルの未然防止及び事後対策	【トラブルの未然防止策及び事後対策を評価】 ・建設時及び運営時におけるトラブルの未然防止策及び事後対策について、実効性のある提案であるか。 ・ヒューマンエラーによる一次災害・二次災害を防止する機能やシステム、ルールの構築について、実効性のある提案であるか。 【稼働後の人的安全対策を評価】 ・ごみピットへの転落防止のために講じる対策、作業員等の作業環境対策及びその他安全対策について、具体性と実効性のある提案であるか。	20点
			⑨ 安定稼働	【安定稼働に資する取り組み及び設計面の工夫を評価】 ・処理システムの信頼性向上の取組みとして、実績を踏まえた設備構成、最新技術の採用等、安定稼働に資する工夫について、実効性と妥当性のある提案であるか。 ・計画ごみ質や計画処理量の季節的変動、経年的変動への対応力、ユーティリティ使用量の増加防止に関する設計面の工夫について、実効性と妥当性のある提案であるか。	20点
			⑩ 搬入管理・運転管理	【円滑で安定的なごみ処理に資する設計面及び運営面の工夫を評価】 ・ごみの搬入管理の適正化及び効率化について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性のある提案であるか。 ・性能保証事項（処理能力、公害防止基準等）の運転監視方法（常時及び定期測定）に対し、計画性と妥当性のある提案であるか。	20点
			⑪ 情報発信	【信頼性の確保・維持するための取り組みを評価】 ・事業期間全体を通じた情報発信等の工夫について、具体性と妥当性のある提案であるか。 ・情報発信を通じて、住民からの信頼を確保し、維持するための工夫について、具体性と妥当性のある提案であるか。	20点
			⑫ 運営開始後の地域との関わり方	【地域との関わり方を評価】 ・運営期間における、イベントの開催などソフト面での係わり方に関する提案内容について、具体性のある提案であるか。	20点

審査事項	大項目	中項目	小項目	審査の視点	配点	
費用対効果に優れた整備運営		・DBO事業による整備を行い、合理的な施設の整備・運営を行う。	⑬ 工程の工夫	【合理的な施設の整備・稼働中の周辺施設への配慮に関する施工計画を評価】 ・円滑な工事のための方策と工程計画について、妥当性のある提案であるか。 ・周辺施設の稼働停止を伴う工事において稼働への影響を最小化する方策について、具体性と実効性のある提案であるか。	20点	80点
			⑭ 組織体制・人員配置	【合理的な施設の運営を評価】 ・組織体制及び運転管理体制において、各々の役割分担が明確であり、適正な人員配置であるか。 ・職員の教育方法について、具体性と妥当性のある提案であるか。	20点	
			⑮ 経営計画・事業収支	【安定した事業計画を評価】 ・事業期間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画について、計画性と妥当性のある提案であるか。 ・運営事業者（SPC）への資金面での支援に対し、事業期間にわたる安定した事業継続が可能となる計画であるか。	20点	
			⑯ リスク管理と対処方法	【リスク管理を評価】 ・リスク管理の方針及び体制の構築、リスク管理との関係が明確な保険の活用について、具体性と妥当性のある提案であるか。 ・事業期間を通して、必要かつ十分なセルフモニタリングの内容及び頻度であるか。	20点	
エネルギー活用の最大化と環境保全対策の徹底		・2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ長崎」を宣言。 ・資源循環、エネルギー回収及び利用に優れ、省エネルギー化に努める。 ・自然環境・生活環境への負荷を低減し、周辺環境と調和した施設を目指す。 ・環境学習を始めとした、環境教育の起点となる施設を目指す。	⑰ ゼロカーボンへ向けた取り組み	【ゼロカーボンに向けた取り組み及び方策を評価】 ・「ゼロカーボンシティ長崎」宣言を踏まえ、本施設の整備・運営においては、最新技術を活用した温室効果ガスの抑制方策及び二酸化炭素排出実質ゼロに向けた排出量抑制等の取組みについて、実効性のある提案であるか。	40点	210点
			⑱ エネルギーの有効活用	【エネルギー回収率及び発電効率の最大化に向けた方策を評価】 ・エネルギー回収率及び発電効率の最大化について、具体性と妥当性のある提案であるか。 ・操炉計画を含む売電最大化のための運転上の工夫について、具体性と妥当性のある提案であるか。 ・省エネルギーの取り組みによる消費電力量の削減、ごみ量及びごみ質の変動を考慮した定格発電出力による売電量の最大化について、計画性と妥当性のある提案であるか。	40点	
			⑲ 周辺環境と調和した施設	【施設のデザイン、景観への配慮事項を評価】 ・圧迫感の軽減及び各視点場からの見え方に配慮し、周辺環境と調和した景観となった計画（意匠・色彩、施設デザイン、植栽計画、安心感を与える照明計画）であるか。 ・長期にわたって美観を保持するための対応策について、具体性と妥当性のある提案であるか。	50点	
			⑳ 残渣の発生量の低減	【処理における残渣発生量の低減対策について評価】 ・ごみ処理における焼却残渣の発生量を低減させるための方策について、具体性と実効性のある提案であるか。	20点	
			㉑ 公害防止対策	【排ガスや騒音、振動、悪臭等の公害防止対策や周辺環境への配慮事項を評価】 ・各項目の要監視基準値及び運転基準値に対する考え方と遵守方法及びさらなる低減への方策、超過時の対応について、具体性と実効性のある提案であるか。	20点	
			㉒ 見学者対応・環境学習	【展示機能、先進的な環境学習設備について評価】 ・ごみ処理施設の見学を契機に、地球温暖化や脱炭素社会の構築などの環境学習を通じて、環境問題に対して自発的な行動につながるような、一連のストーリー性及び関心を引きつける説得力のある提案であるか。 ・子ども、高齢者、障がい者など、見学者の年齢や立場等に配慮した見学通路・配置等が構築され、施設への理解の向上と円滑な見学対応が可能な見学ルート、引率・説明手順、見学窓の配置等について、計画性と具体性のある提案であるか。 ・見学設備及び環境学習プログラムに対し、社会の変化に即応した対処や方策、陳腐化防止（設備更新等）対策について、妥当性のある提案であるか。	40点	
その他	・地域貢献	⑳ 市内業者又は認定市内業者の活用や雇用による地元経済への配慮	【長崎市への経済対策を評価】 ・本事業の実施に関して市内業者又は認定市内業者の活用と現地調達に最大限配慮した計画であるか。 ・本事業の実施に関して地元雇用に最大限配慮した計画であるか。	20点	40点	
		㉓ 企業ノウハウを活かした地域貢献	【地域貢献への有効な提案を評価】 ・本事業の整備方針及び施設の立地条件等を踏まえ、企業ノウハウを活かした地域貢献策の提案内容の具体性と実効性のある提案であるか。	20点		